

都市計画基礎調査実施要領（案）【概要】

2023.03.10

(1) 都市計画基礎調査実施要領の概要

○都市計画基礎調査実施要領とは

- 都市計画基礎調査は、都市計画法第 6 条に基づき、都市における人口、産業、土地利用、交通などの現況及び将来の見通しを定期的に把握し、客観的・定量的なデータに基づいた都市計画の運用を行うための基礎となるものである。
- 「都市計画基礎調査実施要領」は、都市計画基礎調査の調査項目や内容の目安を定めたものであり、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 245 条の 4 の規定に基づき行う技術的な助言の性格を有するものである。

○都市計画基礎調査と都市計画データ製品標準仕様書の関係

- 都市計画実施要領の調査項目等は、標準製品仕様書と整合

<インプット>

- ・データの収集項目
- ・調査方法・入手方法等

<アウトプット（作成項目）>

- ・原典データリスト（CSV形式）
- ・調書（CSV形式）
- ・図面（GISデータ）
- ・集計表（CSV形式）

都市計画基礎調査のデータ整備フロー

(インプット)

データの収集項目・調査方法・入手方法 等

(データ整備)

標準製品仕様書に基づくデータ整備

- データの内容及び構造
- 参照系 データ品質
- データ配布情報 メタデータ 等

(アウトプット：調査結果取りまとめ)

GISデータ（図面）の作成
調書および集計表、原典データ
リストの作成

対象ドキュメント

都市計画基礎調査
実施要領

都市計画データ
標準製品仕様書

都市計画基礎調査
実施要領

主な対象者

地方公共団体
都市計画部局担当者

データ整備
受託事業者

地方公共団体
都市計画部局担当者

(1) 現行要領の課題と改訂の方向性

課題① 現状の実施要領は、必ずしもGIS等のデータ整備を想定していないことから、各項目のデータフォーマットが不明確であり、地方公共団体によってアウトプットにバラツキあり。

方針① GISデータ（CityGML形式）として整備する内容を明示するとともに、GISデータのフォーマット（ジオメトリの種類（ポイント／ポリゴン等）、データ型、単位等）を統一化。CSVデータ（集計表）についても集計単位やデータ型を明示。

課題② 収集項目または調書項目などの属性項目に係る記載内容の不整合・表記ゆれあり。

方針② 収集項目または調書項目などの属性項目に係る記載内容の整合性確保・用語の統一等の対応。

課題③ 原典データが複数記載されている場合等の採用ルールがなく、原典データと実施要領の「収集項目／調書」に不整合（不明確な部分）あり。

方針③ 原典データの採用ルール等の検討、原典データと実施要領の「収集項目／調書」の整合性確保および明示

【原典データの採用ルール（案）】

- ・データの入手性や全国均質なデータ整備の観点から、オープンデータが存在する場合は、当該データを原典に採用する。
- ・現状の実施要領にはGISデータに関する記載がない場合でも、最新のオープンデータが入手可能な場合は、実施要領上でもGIS化を検討例）将来人口メッシュ等

(1) 現行要領の課題と改訂の方向性

課題④ 都市計画基礎調査の調査項目は、複数の出典データから構成されていたり、基礎調査データとしてのデータ作成時期と原典データが異なることがあるため、原典データの内容や年次等のメタ情報がわかるようにする必要

方針④ すべての調査項目について、標準製品仕様のメタデータファイルと整合するかたちで、〈原典データ〉のリスト・表を作成

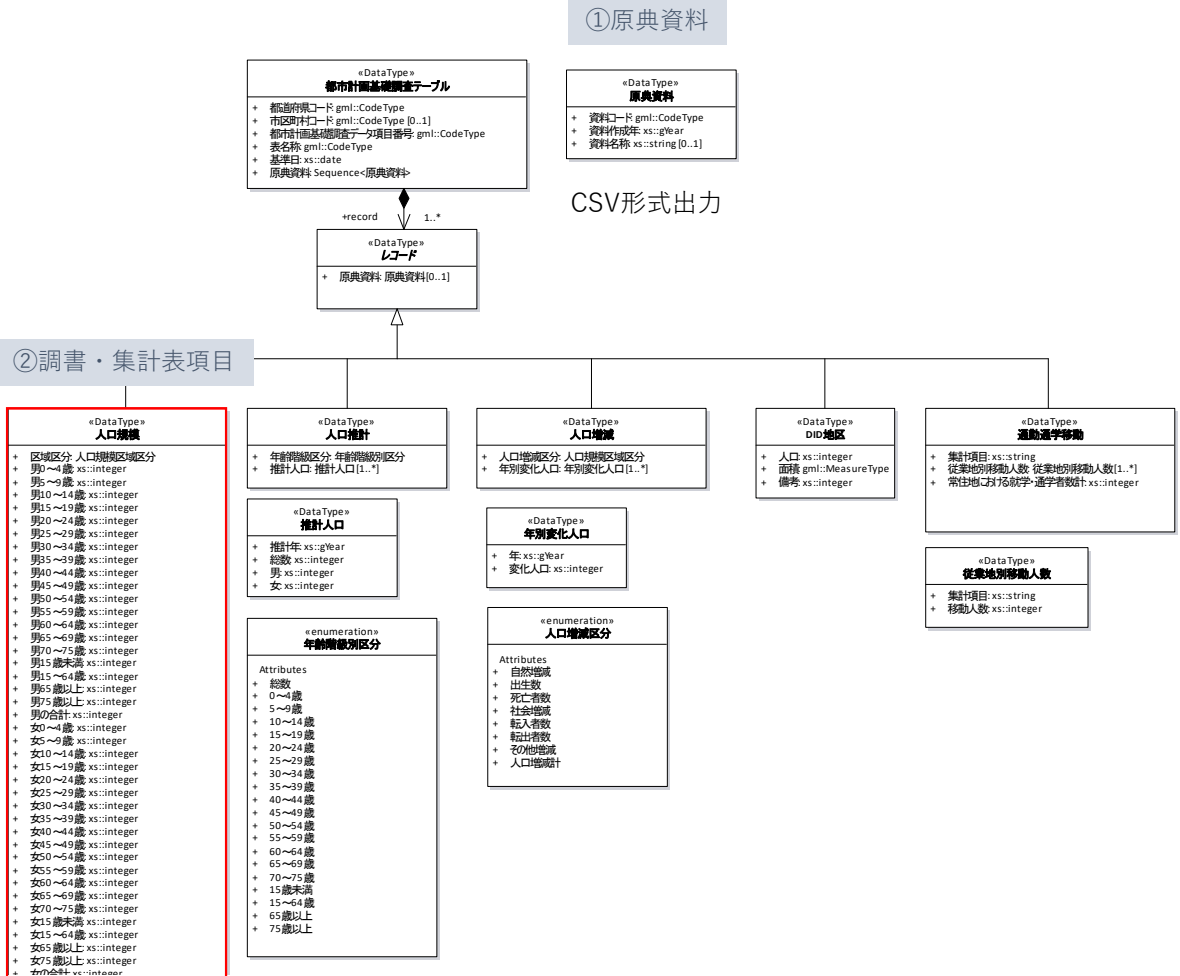
実施要領について〈原典リスト〉の項目の追加

- ①全調査項目について、原典リスト（表）を追加。（標準製品仕様と整合を図る）
- ②複数の原典データのリスト
 - i) 地物ごとに原典データが異なる場合、原典リストにすべての原典データ名と年次を記載
 - ii) 調書（属性）項目ごとに原典データが異なる場合、項目別に原典データ名とその年次を記載
- ③原典データについてはリスト化・コード化→標準製品仕様に反映

(2) 実施要領の改訂内容と標準製品仕様書内容の関係性（整合性の確保）

C0101 人口規模																																																																																	
a.収集項目	年齢階級別（5歳）、性別人口																																																																																
b.収集範囲	行政区域																																																																																
c.収集単位	・町丁目単位（小地域単位） ・メッシュ単位（4分の1地域メッシュ） ※総務省統計局からメッシュ単位（4分の1地域（250m）メッシュ単位）のデータも収集可能。																																																																																
d.収集方法	・国勢調査、総務省統計局から収集 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 収集データの例（最新年次） 国勢調査／（小地域別）年齢（5歳階級、4区分）別、男女別人口（2020） https://www.e-stat.go.jp/ais/statmap-search?page=1&type=1&tokeiCode=00200521&tokelYear=2020&aggregateUnit=A&surveyId=A007005212020&statsId=T001082（URI） 総務省統計局／（メッシュ単位）年齢階級別、男女別データ 総務省統計局に申請もしくは、総務省統計局を通じて電子データの入手が可能。 </div>																																																																																
e.留意事項	・小地域データは統計調査を実施するために設定された基本単位の地域を基礎としており、住所表示等に用いられている町丁・字境界、名称と一致しない場合があることに注意が必要。 ・国勢調査の就業状態等基本集計において、都市計画の区分による人口・世帯数（総数）が公表されている。 ・GISデータについては、平成7年度以降は世界測地系データが収集可能であり、世界測地系のデータを活用する。																																																																																
①原典リスト	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>原典データ</th> <th>年次</th> <th>入手先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小地域別</td> <td>国勢調査／（小地域別）年齢（5歳階級、4区分）別、男女別人口</td> <td>2020</td> <td>URI</td> </tr> <tr> <td>メッシュ単位</td> <td>総務省統計局／（メッシュ単位）年齢階級別、男女別データ</td> <td>-</td> <td>総務省統計局</td> </tr> </tbody> </table> <p>※複数の原典データを元に作成している場合は必要に応じて行を追加する。 ※原典データの入手先がURLの場合はd.収集方法の「収集データの例」のURLを参照</p>	項目	原典データ	年次	入手先	小地域別	国勢調査／（小地域別）年齢（5歳階級、4区分）別、男女別人口	2020	URI	メッシュ単位	総務省統計局／（メッシュ単位）年齢階級別、男女別データ	-	総務省統計局																																																																				
項目	原典データ	年次	入手先																																																																														
小地域別	国勢調査／（小地域別）年齢（5歳階級、4区分）別、男女別人口	2020	URI																																																																														
メッシュ単位	総務省統計局／（メッシュ単位）年齢階級別、男女別データ	-	総務省統計局																																																																														
②調書・集計表項目	<p><調書> ○小地域別集計人口 (○○年調書をもとに作成)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>小地域コード</th> <th>総数 年齢不詳含む (A)</th> <th>総数 0-4歳 (A)</th> <th>総数 5歳以上 (A)</th> <th>男の総数 年齢不詳含む (A)</th> <th>男 0-4歳 (A)</th> <th>男 5歳以上 (A)</th> <th>女の総数 年齢不詳含む (A)</th> <th>女 0-4歳 (A)</th> <th>女 5歳以上 (A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>:</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>○メッシュ単位（4分の1地域（250m）メッシュ単位） (○○年調書をもとに作成)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>メッシュコード</th> <th>総数 年齢不詳含む (A)</th> <th>総数 0-4歳 (A)</th> <th>総数 5歳以上 (A)</th> <th>男の総数 年齢不詳含む (A)</th> <th>男 0-4歳 (A)</th> <th>男 5歳以上 (A)</th> <th>女の総数 年齢不詳含む (A)</th> <th>女 0-4歳 (A)</th> <th>女 5歳以上 (A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>:</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	小地域コード	総数 年齢不詳含む (A)	総数 0-4歳 (A)	総数 5歳以上 (A)	男の総数 年齢不詳含む (A)	男 0-4歳 (A)	男 5歳以上 (A)	女の総数 年齢不詳含む (A)	女 0-4歳 (A)	女 5歳以上 (A)	1										2										:										メッシュコード	総数 年齢不詳含む (A)	総数 0-4歳 (A)	総数 5歳以上 (A)	男の総数 年齢不詳含む (A)	男 0-4歳 (A)	男 5歳以上 (A)	女の総数 年齢不詳含む (A)	女 0-4歳 (A)	女 5歳以上 (A)	1										2										:									
小地域コード	総数 年齢不詳含む (A)	総数 0-4歳 (A)	総数 5歳以上 (A)	男の総数 年齢不詳含む (A)	男 0-4歳 (A)	男 5歳以上 (A)	女の総数 年齢不詳含む (A)	女 0-4歳 (A)	女 5歳以上 (A)																																																																								
1																																																																																	
2																																																																																	
:																																																																																	
メッシュコード	総数 年齢不詳含む (A)	総数 0-4歳 (A)	総数 5歳以上 (A)	男の総数 年齢不詳含む (A)	男 0-4歳 (A)	男 5歳以上 (A)	女の総数 年齢不詳含む (A)	女 0-4歳 (A)	女 5歳以上 (A)																																																																								
1																																																																																	
2																																																																																	
:																																																																																	

<標準製品仕様書>



CSV形式出力

(3) 例 : C0106 昼間人口

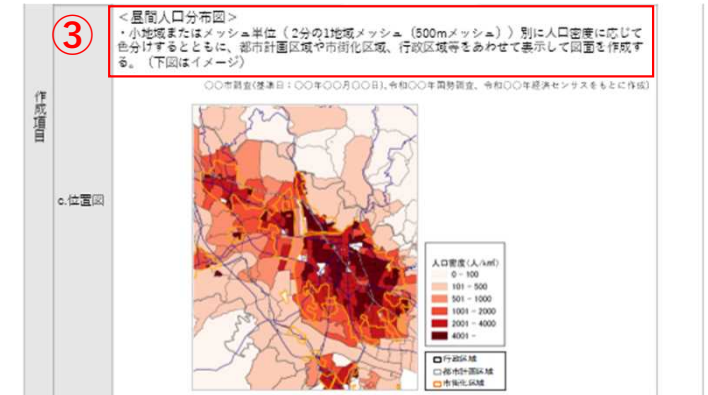
- ・項目別に原典データが複数
- ・位置図のみ（調書なし）
- ・ジオメトリの種類が不明確

<改訂内容>

- ①原典データリスト
 - ・属性項目別に原典を表示
- ②調書の追加
 - ・GISデータとして属性項目を明示
 - ・属性項目は、原典データおよび作成項目をもとに作成
- ③ジオメトリの種類を明確化
 - ・小地域ポリゴン以外に500mメッシュによる作成を明記

C0106 昼間人口																					
a.収集項目	昼間人口																				
b.収集範囲	行政区域																				
c.収集単位	・町丁目単位（小地域単位） ・メッシュ単位（2分の1地域メッシュ）																				
d.収集方法	・国勢調査、経済センサス-基礎調査、学校ごとの在籍学生・生徒数の調査から収集 ・省管データも利用する場合、Shinfonica 公益財団法人 統計情報センター (https://www.shinfonica.or.jp/datalist/index.html) より購入することが可能																				
e.留意事項	-																				
収集方法	<p>収集データの例（最新年次）</p> <p>国勢調査/従業者・通字地による人口・就業状態等集計（2020） https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=catalist&tokukai=0020521&stat=00001080615&cycle=0&class1=00001101935&class2=00001101955&class3=00001101956 (URL) ●</p> <p>国勢調査/（小地域別）職業大分類別就業者数（2020） https://www.e-stat.go.jp/gis/statmap-search?page=1&type=1&tokukaiCode=0020521&tokukaiYear=2020&aggregateUnit=A&seriesId=A002885232920&statId=1001304 (URL) ●</p> <p>経済センサス-基礎調査/（小地域別）産業（大分類）別雇用者数及び男女別就業者数 https://www.e-stat.go.jp/gis/statmap-search?page=1&type=1&tokukaiCode=0020553&tokukaiYear=2016&aggregateUnit=A&seriesId=A002885532016&statId=1000920 (URL) ●</p> <p>庁内資料等/学校ごとの在籍学生・生徒数の調査資料</p>																				
	a.原典リスト	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>原典データ</th> <th>年次</th> <th>入手先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>昼間に通字も従業者もしていないもの</td> <td>国勢調査/従業者・通字地による人口・就業状態等集計</td> <td>2020</td> <td>URL●</td> </tr> <tr> <td>昼間従業者数</td> <td>国勢調査/（小地域別）職業大分類別就業者数</td> <td>2020</td> <td>URL●</td> </tr> <tr> <td>昼間従業者数</td> <td>経済センサス-基礎調査/（小地域別）産業（大分類）別雇用者数及び男女別就業者数</td> <td>2014</td> <td>URL●</td> </tr> <tr> <td>昼間通字者数</td> <td>庁内資料等/学校ごとの在籍学生・生徒数の調査資料</td> <td>-</td> <td>庁内資料</td> </tr> </tbody> </table> <p>※複数の原典データを元に作成している場合は必要に応じて行を追加する。 ※原典データの入手先がURLの場合はd.収集方法の[収集データの例]のURLを参照</p>	項目	原典データ	年次	入手先	昼間に通字も従業者もしていないもの	国勢調査/従業者・通字地による人口・就業状態等集計	2020	URL●	昼間従業者数	国勢調査/（小地域別）職業大分類別就業者数	2020	URL●	昼間従業者数	経済センサス-基礎調査/（小地域別）産業（大分類）別雇用者数及び男女別就業者数	2014	URL●	昼間通字者数	庁内資料等/学校ごとの在籍学生・生徒数の調査資料	-
項目	原典データ	年次	入手先																		
昼間に通字も従業者もしていないもの	国勢調査/従業者・通字地による人口・就業状態等集計	2020	URL●																		
昼間従業者数	国勢調査/（小地域別）職業大分類別就業者数	2020	URL●																		
昼間従業者数	経済センサス-基礎調査/（小地域別）産業（大分類）別雇用者数及び男女別就業者数	2014	URL●																		
昼間通字者数	庁内資料等/学校ごとの在籍学生・生徒数の調査資料	-	庁内資料																		
作成項目	<p><調書の作成方法></p> <p>以下の式により小地域等の昼間人口を算定する。 昼間人口 = 昼間従業者 + 昼間通字者 + 昼間に従業者も通字もしていない者</p> <p>○昼間従業者 ・経済センサス-基礎調査から、町丁・字等別に従業者数（農林漁業従業者除く）を算出。町丁・字等ごとの従業者数構成比を求め、その比率で国勢調査の市区町村別昼間従業者数を按分して設定する。</p> <p>○昼間通字者 ・学校ごとの在籍者数・生徒数の調査から、町丁・字等別に通字者数を算出。町丁・字等ごとの通字者数構成比を求め、その比率で国勢調査の市区町村別昼間通字者数を按分して設定する。</p> <p>○昼間に従業者も通字もしていない者 ・国勢調査から以下により算定する。</p>																				
	b.調書	<p>昼間に従業者も通字もしていない者 = 15歳以上就業も通字もしていない者 + 15歳未満就業も通字もしていない者 + 農林漁業従業者</p> <p>15歳以上就業も通字もしていない者 = 15歳以上非労働力人口 - 15歳以上通字者 + 完全失業者</p> <p>15歳未満就業も通字もしていない者 = 未就学者数(全年齢) - 15歳以上未就学児</p>																			

C0106 昼間人口（つづき）								
○小地域別昼間人口 ○○市調査(基準日:○○年○○月○○日)、令和○○年国勢調査、令和○○年経済センサスをもとに作成)								
小地域コード	昼間従業者数 (人)	昼間通字者数 (人)	昼間に従業者も通字もしていないもの、15歳未満 (人)	昼間に従業者も通字もしていないもの、15歳以上 (人)	昼間に従業者も通字もしていないもの、農林漁業従業者 (人)	昼間に従業者も通字もしていないもの、合計 (人)	総数 (昼間人口) (人)	人口密度 (昼間人口) (人/km ²)
1								
2								
3								
:								
○メッシュ単位（2分の1地域メッシュ（500mメッシュ）単位） ○○市調査(基準日:○○年○○月○○日)、令和○○年国勢調査、令和○○年経済センサスをもとに作成)								
メッシュコード	昼間従業者数 (人)	昼間通字者数 (人)	昼間に従業者も通字もしていないもの、15歳未満 (人)	昼間に従業者も通字もしていないもの、15歳以上 (人)	昼間に従業者も通字もしていないもの、農林漁業従業者 (人)	昼間に従業者も通字もしていないもの、合計 (人)	総数 (昼間人口) (人)	人口密度 (昼間人口) (人/km ²)
1								
2								
3								
:								



(3) 例 : C0502 道路の状況

C0601 主要な幹線の断面交通量・混雑度・旅行速度

- ・調書がない、または、原典データと項目が異なる(不足)
- ・ジオメトリが不明確
- ・データの区分基準が不明確

<改訂内容>

①調書の追加

- ・オープンデータである、国土地理院の道路中心線データの項目をもとに作成(DRMと同一)

②データの区分基準の明記

- ・原典データによる区分基準を明示

③ジオメトリの種類のも明確化

- ・地理院の道路中心線データをベースにラインで作成

④調書項目の詳細化

- ・原典データにあわせて、上り・下りの区分などを追加

C0502 道路の状況																
収集方法	a.収集項目	位置、幅員														
	b.収集範囲	都市計画区域及び準都市計画区域														
作成項目	c.収集単位	道路毎														
	d.収集方法	国や都道府県、市町村の道路台帳、デジタル道路地図、ベクトルデータ(道路中心線: 国土地理院が試験公開中で無償にてダウンロード可能) から収集														
a.原典リスト	e.留意事項	-														
	a.原典リスト	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>原典データ</th> <th>年次</th> <th>入手先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> </tbody> </table>			項目	原典データ	年次	入手先	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇				
項目	原典データ	年次	入手先													
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇													
b.調書	<調書>															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>整備データ登録日</th> <th>暫定フラグ</th> <th>道路分類</th> <th>幅員区分</th> <th>有料区分</th> <th>分離帯区分</th> <th>自動車専用道路</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>...</td> <td></td> <td></td> <td>下表による</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			整備データ登録日	暫定フラグ	道路分類	幅員区分	有料区分	分離帯区分	自動車専用道路	...			下表による		
整備データ登録日	暫定フラグ	道路分類	幅員区分	有料区分	分離帯区分	自動車専用道路										
...			下表による													
c.位置図	幅員の区分については、延焼道路、下表により設定する。															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>幅員区分</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15m以上</td> <td>木防壁率の判定に用いる</td> </tr> <tr> <td>6m以上15m未満</td> <td>不燃保護率の判定に用いる</td> </tr> <tr> <td>4m以上6m未満</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>4m未満</td> <td>投道不良の判定に用いる</td> </tr> </tbody> </table>			幅員区分	備考	15m以上	木防壁率の判定に用いる	6m以上15m未満	不燃保護率の判定に用いる	4m以上6m未満	-	4m未満	投道不良の判定に用いる			
幅員区分	備考															
15m以上	木防壁率の判定に用いる															
6m以上15m未満	不燃保護率の判定に用いる															
4m以上6m未満	-															
4m未満	投道不良の判定に用いる															
<道路状況図>																
道路の状況を地図に表示する。(下图はイメージ)																

C0601 主要な幹線の断面交通量・混雑度・旅行速度																										
収集方法	a.収集項目	平日・休日12時間(24時間)自動車類交通量、ピーク時間交通量(台/時)、大型車混入率、平均混雑度(平日)、混雑時平均旅行速度																								
	b.収集範囲	行政区域(主要幹線道路)																								
作成項目	c.収集単位	各路線・観測地点																								
	d.収集方法	全国道路・街路交通情勢調査(一般交通量調査)報告書から収集																								
a.原典リスト	e.留意事項	-																								
	a.原典リスト	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>原典データ</th> <th>年次</th> <th>入手先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>2015</td> <td>URL</td> </tr> </tbody> </table>		項目	原典データ	年次	入手先	〇〇	〇〇	2015	URL															
項目	原典データ	年次	入手先																							
〇〇	〇〇	2015	URL																							
b.調書	<調書>																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>交通調査区間</th> <th>道路名称</th> <th>管理地名</th> <th>平日昼間12時間交通量(上下合計)</th> <th>平日24時間交通量(上下合計)</th> <th>大型車混入率(混雑12時間)</th> <th>混雑度</th> <th>混雑時平均旅行速度(上り)</th> <th>混雑時平均旅行速度(下り)</th> <th>混雑時平均旅行速度(上り)</th> <th>混雑時平均旅行速度(下り)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>...</td> <td></td> <td></td> <td>台</td> <td>台</td> <td>%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			交通調査区間	道路名称	管理地名	平日昼間12時間交通量(上下合計)	平日24時間交通量(上下合計)	大型車混入率(混雑12時間)	混雑度	混雑時平均旅行速度(上り)	混雑時平均旅行速度(下り)	混雑時平均旅行速度(上り)	混雑時平均旅行速度(下り)	...			台	台	%						
交通調査区間	道路名称	管理地名	平日昼間12時間交通量(上下合計)	平日24時間交通量(上下合計)	大型車混入率(混雑12時間)	混雑度	混雑時平均旅行速度(上り)	混雑時平均旅行速度(下り)	混雑時平均旅行速度(上り)	混雑時平均旅行速度(下り)																
...			台	台	%																					
c.位置図	<混雑時平均旅行速度分布図>																									
c.集計表	(混雑時平均旅行速度分布図の凡例)																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>色指定 (RGB)</th> <th>緑色指定 (RGB)</th> <th>緑の太さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>混雑時平均旅行速度(平日)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>20.0km/h未満</td> <td>255,0,0</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>20.0~24.9km/h</td> <td>0,178,0</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>25.0~29.9km/h</td> <td>0,255,255</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>30.0km/h以上</td> <td>0,0,0</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			項目	色指定 (RGB)	緑色指定 (RGB)	緑の太さ	混雑時平均旅行速度(平日)				20.0km/h未満	255,0,0	なし		20.0~24.9km/h	0,178,0	なし		25.0~29.9km/h	0,255,255	なし		30.0km/h以上	0,0,0	なし
項目	色指定 (RGB)	緑色指定 (RGB)	緑の太さ																							
混雑時平均旅行速度(平日)																										
20.0km/h未満	255,0,0	なし																								
20.0~24.9km/h	0,178,0	なし																								
25.0~29.9km/h	0,255,255	なし																								
30.0km/h以上	0,0,0	なし																								

(4) 都市計画データの標準描画仕様 (例)

C0302 土地利用現況

①背景図の縮尺

- ・ 1:10,000、または、1 : 2,500 (追加)
- 建物や不動産IDとの連携のための精度

②ジオメトリー

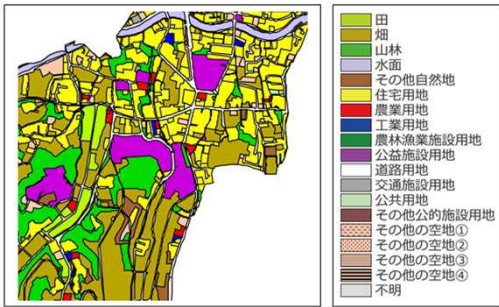
- ・ 敷地ごとに「土地利用ポリゴン」を作成

③「凡例」の追加

- ・ 用途別の土地利用ポリゴンの色指定
- 「面」色指定 (RGB)
- 「縁」色指定 (RGB)
- 「面」パターン・ハッチング (種類・色)

<土地利用現況図>

- ・ 土地利用ポリゴンデータを使用して地図に表示する。(下図はイメージ)



C0302 土地利用現況																					
a.収集項目	位置、用途、面積、低未利用土地																				
b.収集範囲	都市計画区域及び準都市計画区域																				
c.収集単位	敷地毎																				
d.収集方法	・ 現地調査、空中写真、固定資産課税台帳、登記簿、住宅地図等から収集																				
収集方法	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">収集データの例 (最新年次)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①現地調査</td> <td>・ 現地調査による現況確認が望ましいが、効率的な調査の観点から、下記のデータを適宜活用して予算前回の調査時点からの変化箇所や低未利用地を一次判定することで、現地調査の省力化を図ることが考えられる。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>②空中写真</td> <td>・ 前回調査時点の空中写真と現在の空中写真を比較することで、変化箇所の抽出及び低未利用土地の一次判定に活用</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③固定資産課税台帳/登記簿</td> <td>・ 土地利用の変化箇所等について、登記異動等の情報から変化箇所の抽出や土地利用の種別を一次判定することが可能</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④住宅地図</td> <td>・ 上記と同様</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	収集データの例 (最新年次)				①現地調査	・ 現地調査による現況確認が望ましいが、効率的な調査の観点から、下記のデータを適宜活用して予算前回の調査時点からの変化箇所や低未利用地を一次判定することで、現地調査の省力化を図ることが考えられる。			②空中写真	・ 前回調査時点の空中写真と現在の空中写真を比較することで、変化箇所の抽出及び低未利用土地の一次判定に活用			③固定資産課税台帳/登記簿	・ 土地利用の変化箇所等について、登記異動等の情報から変化箇所の抽出や土地利用の種別を一次判定することが可能			④住宅地図	・ 上記と同様		
	収集データの例 (最新年次)																				
①現地調査	・ 現地調査による現況確認が望ましいが、効率的な調査の観点から、下記のデータを適宜活用して予算前回の調査時点からの変化箇所や低未利用地を一次判定することで、現地調査の省力化を図ることが考えられる。																				
②空中写真	・ 前回調査時点の空中写真と現在の空中写真を比較することで、変化箇所の抽出及び低未利用土地の一次判定に活用																				
③固定資産課税台帳/登記簿	・ 土地利用の変化箇所等について、登記異動等の情報から変化箇所の抽出や土地利用の種別を一次判定することが可能																				
④住宅地図	・ 上記と同様																				
e.留意事項	・ 都市計画以外の部署が保有するデータの積極的な利用や、空中写真等の共同利用をはじめとして、データ収集の効率化 (費用低減) ・ 高度化 (高頻度化) を図ることが考えられる。																				
作成項目	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>原典データ</th> <th>年次</th> <th>入手先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>用途</td> <td>◎◎ ◎現地調査、空中写真、固定資産課税台帳、登記簿、住宅地図等の資料をもとに記述</td> <td>◎◎</td> <td>◎◎ ◎原典データの入手先がURLの場合はそのURLを記述</td> </tr> <tr> <td>面積</td> <td>◎◎ ◎現地調査、空中写真、固定資産課税台帳、登記簿、住宅地図等の資料をもとに記述</td> <td>◎◎</td> <td>◎◎ ◎原典データの入手先がURLの場合はそのURLを記述</td> </tr> <tr> <td>低未利用土地</td> <td>◎◎ ◎現地調査、空中写真、固定資産課税台帳、登記簿、住宅地図等の資料をもとに記述</td> <td>◎◎</td> <td>◎◎ ◎原典データの入手先がURLの場合はそのURLを記述</td> </tr> </tbody> </table> <p>※複数の原典データを元に作成している場合は必要に応じて行を追加する。 ※原典データの入手先がURLの場合はd.収集方法の[収集データの例]のURLを参照</p>	項目	原典データ	年次	入手先	用途	◎◎ ◎現地調査、空中写真、固定資産課税台帳、登記簿、住宅地図等の資料をもとに記述	◎◎	◎◎ ◎原典データの入手先がURLの場合はそのURLを記述	面積	◎◎ ◎現地調査、空中写真、固定資産課税台帳、登記簿、住宅地図等の資料をもとに記述	◎◎	◎◎ ◎原典データの入手先がURLの場合はそのURLを記述	低未利用土地	◎◎ ◎現地調査、空中写真、固定資産課税台帳、登記簿、住宅地図等の資料をもとに記述	◎◎	◎◎ ◎原典データの入手先がURLの場合はそのURLを記述				
	項目	原典データ	年次	入手先																	
用途	◎◎ ◎現地調査、空中写真、固定資産課税台帳、登記簿、住宅地図等の資料をもとに記述	◎◎	◎◎ ◎原典データの入手先がURLの場合はそのURLを記述																		
面積	◎◎ ◎現地調査、空中写真、固定資産課税台帳、登記簿、住宅地図等の資料をもとに記述	◎◎	◎◎ ◎原典データの入手先がURLの場合はそのURLを記述																		
低未利用土地	◎◎ ◎現地調査、空中写真、固定資産課税台帳、登記簿、住宅地図等の資料をもとに記述	◎◎	◎◎ ◎原典データの入手先がURLの場合はそのURLを記述																		
b.調査	<p><調査></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ID</th> <th>用途</th> <th>面積 (㎡)</th> <th>低未利用土地フラグ*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>:</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※低未利用土地フラグとして該当する敷地に1を入力する。</p>	ID	用途	面積 (㎡)	低未利用土地フラグ*	1				2				:							
ID	用途	面積 (㎡)	低未利用土地フラグ*																		
1																					
2																					
:																					
c.位置図	<p>①</p> <p>②</p> <p><土地利用現況図></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土地利用分類表により、1:2,500または、1:10,000地形図を背景に、敷地毎に土地利用ポリゴンを作成する。なお、必要に応じて、土地の用途分類と低未利用地の状況を重ねた図を作成する。(次頁のイメージを参照) ・ 土地利用ポリゴン毎に土地の用途を分類する。用途の分類 (細分類) は、下表による。なお、用途に対応するコーディングは「利用・提供の観点を除いた都市計画基礎調査実施要領及び都市計画基礎調査情報の利用・提供ガイドラインに係る技術資料」に示す。 ・ 敷地内に複数用途の建築物が存在する場合は主たる用途で代表させる。 ・ 道路は、道路法の道路以外についても、道路として一般の通行の用に供しているものは全て道路として分類し、一般の通行の用に供していないものは、沿道用途に含まれるものとする。 ・ 耕作放棄地について、その他自然地とせず、独立した区分とすることも考えられる。 ・ その他の空地④について、住宅地図等から現況が確認できる利用の用途が他にあれば地方公共団体の判断で独自に更に細分化することは可能。 																				

C0302 土地利用現況 (つづき)																																																																																					
作成項目	<p>・ 低未利用土地については、個々の土地の性質を説明する属性情報として把握し、下表により分類された土地利用の用途と重畳することにより活用することが効果的である。低未利用土地の定義については、土地基本法第13条第4項において「居住の用、業務の用その他の用途に供されておらず、又はその利用の程度がその周辺の地域における同一の用途若しくはこれに類する用途に供されている土地の利用の程度に比べて著しく劣っていると認められる土地」としており、用途に供されていない空地、空家・空店舗の存する土地等が該当するが、その把握については、既存保有資料等も活用しつつ、地域課題として必要とされるレベルに応じて各市町村の区域内の土地の利用状況を把握することが重要となる。</p> <p>(土地利用分類表)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途分類</th> <th>細分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>田</td> <td>水田</td> </tr> <tr> <td>畑</td> <td>畑、樹園地、採草地、養鶏 (牛、豚) 場</td> </tr> <tr> <td>山林</td> <td>樹林地</td> </tr> <tr> <td>水面</td> <td>河川水面、湖沼、ため池、用水路、溝、運河水面</td> </tr> <tr> <td>その他自然地</td> <td>原野・牧野、荒れ地 (耕作放棄地等自然的状況のもの)、低湿地、河川敷・河原、遊歩、湖岸</td> </tr> <tr> <td>住宅用地</td> <td>建物用途分類表 (P.33) の5-9</td> </tr> <tr> <td>商業用地</td> <td>同1-4</td> </tr> <tr> <td>工業用地</td> <td>同13</td> </tr> <tr> <td>農林漁業施設用地</td> <td>同14</td> </tr> <tr> <td>公益施設用地</td> <td>同10、11、15</td> </tr> <tr> <td>道路用地</td> <td>道路、駅前広場</td> </tr> <tr> <td>交通施設用地</td> <td>同12</td> </tr> <tr> <td>公共空地</td> <td>公園・緑地、広場、運動場、墓園</td> </tr> <tr> <td>その他公的施設用地</td> <td>防衛施設用地</td> </tr> <tr> <td>その他の空地①</td> <td>ゴルフ場</td> </tr> <tr> <td>その他の空地②</td> <td>太陽光発電のシステムを直接整備している土地</td> </tr> <tr> <td>その他の空地③</td> <td>平面駐車場</td> </tr> <tr> <td>その他の空地④</td> <td>その他の空地①~③以外の都市的土地利用 (建物跡地、資材置場、改築工事中の土地、法面 (道路、造成地等の主利用に含まれない法面))</td> </tr> <tr> <td>不明</td> <td>不明な土地</td> </tr> <tr> <td>低未利用土地</td> <td>用途に供されていない空地、空家・空店舗の存する土地 等</td> </tr> </tbody> </table>	用途分類	細分類	田	水田	畑	畑、樹園地、採草地、養鶏 (牛、豚) 場	山林	樹林地	水面	河川水面、湖沼、ため池、用水路、溝、運河水面	その他自然地	原野・牧野、荒れ地 (耕作放棄地等自然的状況のもの)、低湿地、河川敷・河原、遊歩、湖岸	住宅用地	建物用途分類表 (P.33) の5-9	商業用地	同1-4	工業用地	同13	農林漁業施設用地	同14	公益施設用地	同10、11、15	道路用地	道路、駅前広場	交通施設用地	同12	公共空地	公園・緑地、広場、運動場、墓園	その他公的施設用地	防衛施設用地	その他の空地①	ゴルフ場	その他の空地②	太陽光発電のシステムを直接整備している土地	その他の空地③	平面駐車場	その他の空地④	その他の空地①~③以外の都市的土地利用 (建物跡地、資材置場、改築工事中の土地、法面 (道路、造成地等の主利用に含まれない法面))	不明	不明な土地	低未利用土地	用途に供されていない空地、空家・空店舗の存する土地 等																																										
	用途分類	細分類																																																																																			
田	水田																																																																																				
畑	畑、樹園地、採草地、養鶏 (牛、豚) 場																																																																																				
山林	樹林地																																																																																				
水面	河川水面、湖沼、ため池、用水路、溝、運河水面																																																																																				
その他自然地	原野・牧野、荒れ地 (耕作放棄地等自然的状況のもの)、低湿地、河川敷・河原、遊歩、湖岸																																																																																				
住宅用地	建物用途分類表 (P.33) の5-9																																																																																				
商業用地	同1-4																																																																																				
工業用地	同13																																																																																				
農林漁業施設用地	同14																																																																																				
公益施設用地	同10、11、15																																																																																				
道路用地	道路、駅前広場																																																																																				
交通施設用地	同12																																																																																				
公共空地	公園・緑地、広場、運動場、墓園																																																																																				
その他公的施設用地	防衛施設用地																																																																																				
その他の空地①	ゴルフ場																																																																																				
その他の空地②	太陽光発電のシステムを直接整備している土地																																																																																				
その他の空地③	平面駐車場																																																																																				
その他の空地④	その他の空地①~③以外の都市的土地利用 (建物跡地、資材置場、改築工事中の土地、法面 (道路、造成地等の主利用に含まれない法面))																																																																																				
不明	不明な土地																																																																																				
低未利用土地	用途に供されていない空地、空家・空店舗の存する土地 等																																																																																				
c.現況図 (つづき)	<p>③</p> <p><凡例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土地利用現況図凡例 (下表) に従い、敷地ポリゴン (土地利用ポリゴン) 毎に着色する。 <p>(土地利用現況図の凡例)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途分類</th> <th>面 色 指 定 (RGB)</th> <th>縁 色 指 定 (RGB)</th> <th>面 パターン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>田</td> <td>180,255,0</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>畑</td> <td>200,200,80</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>山林</td> <td>0,220,0</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水面</td> <td>120,220,255</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他自然地</td> <td>160,100,50</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>住宅用地</td> <td>255,255,0</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>商業用地</td> <td>230,80,80</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工業用地</td> <td>30,70,255</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>農林漁業施設用地</td> <td>255,200,80</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>公益施設用地</td> <td>200,0,220</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>道路用地</td> <td>255,255,255</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>交通施設用地</td> <td>140,140,140</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>公共空地</td> <td>200,255,200</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他公的施設用地</td> <td>150,70,70</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の空地①</td> <td>255,255,255</td> <td>なし</td> <td>横線 255,0,0</td> </tr> <tr> <td>その他の空地②</td> <td>255,255,255</td> <td>なし</td> <td>縦線 255,0,0</td> </tr> <tr> <td>その他の空地③</td> <td>255,255,255</td> <td>なし</td> <td>左下がり斜線 255,0,0</td> </tr> <tr> <td>その他の空地④</td> <td>255,255,255</td> <td>なし</td> <td>右下がり斜線 255,0,0</td> </tr> <tr> <td>不明</td> <td>190,190,190</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低未利用土地</td> <td>255,255,255</td> <td>なし</td> <td>太縦線 0,0,0</td> </tr> </tbody> </table>	用途分類	面 色 指 定 (RGB)	縁 色 指 定 (RGB)	面 パターン	田	180,255,0	なし		畑	200,200,80	なし		山林	0,220,0	なし		水面	120,220,255	なし		その他自然地	160,100,50	なし		住宅用地	255,255,0	なし		商業用地	230,80,80	なし		工業用地	30,70,255	なし		農林漁業施設用地	255,200,80	なし		公益施設用地	200,0,220	なし		道路用地	255,255,255	なし		交通施設用地	140,140,140	なし		公共空地	200,255,200	なし		その他公的施設用地	150,70,70	なし		その他の空地①	255,255,255	なし	横線 255,0,0	その他の空地②	255,255,255	なし	縦線 255,0,0	その他の空地③	255,255,255	なし	左下がり斜線 255,0,0	その他の空地④	255,255,255	なし	右下がり斜線 255,0,0	不明	190,190,190	なし		低未利用土地	255,255,255	なし	太縦線 0,0,0
用途分類	面 色 指 定 (RGB)	縁 色 指 定 (RGB)	面 パターン																																																																																		
田	180,255,0	なし																																																																																			
畑	200,200,80	なし																																																																																			
山林	0,220,0	なし																																																																																			
水面	120,220,255	なし																																																																																			
その他自然地	160,100,50	なし																																																																																			
住宅用地	255,255,0	なし																																																																																			
商業用地	230,80,80	なし																																																																																			
工業用地	30,70,255	なし																																																																																			
農林漁業施設用地	255,200,80	なし																																																																																			
公益施設用地	200,0,220	なし																																																																																			
道路用地	255,255,255	なし																																																																																			
交通施設用地	140,140,140	なし																																																																																			
公共空地	200,255,200	なし																																																																																			
その他公的施設用地	150,70,70	なし																																																																																			
その他の空地①	255,255,255	なし	横線 255,0,0																																																																																		
その他の空地②	255,255,255	なし	縦線 255,0,0																																																																																		
その他の空地③	255,255,255	なし	左下がり斜線 255,0,0																																																																																		
その他の空地④	255,255,255	なし	右下がり斜線 255,0,0																																																																																		
不明	190,190,190	なし																																																																																			
低未利用土地	255,255,255	なし	太縦線 0,0,0																																																																																		

(4) 都市計画データの標準描画仕様 (例)

C0401 建物利用現況

① 背景図の縮尺

- ・ 1：2,500の地形図

② ジオメトリ

- ・ 「建物ポリゴン」データを作成

③ 「凡例」の追加

- ・ 建物ポリゴンの色を指定
 - 「面」色指定 (RGB)
 - 「縁」色指定 (RGB)
 - 「面」パターン・ハッチング (種類・色)

C0401 建物利用現況 (つづき)

① <位置図>
 ・建物毎の位置を、1：2500の地形図上に、建物ポリゴンデータを使用して地図に表示する。(下図はイメージ)



② <建物利用現況図>
 (建物用途別現況図)
 ・各建物について、1:2500の地形図に、建物用途分類の凡例により、用途別に着色した図面を作成する。(下図はイメージ)

(建物利用現況図の凡例)

用途分類	面 色指定 (RGB)	縁 色指定 (RGB)	面 パターン
1.業務施設	190,30,50	なし	
2.商業施設	120,80,40	なし	
3.宿泊施設	240,140,190	なし	
4.商業系用途複合施設	240,110,60	なし	
5.住宅	240,240,160	なし	
6.共同住宅	250,170,160	なし	
7.店舗等併用住宅	245,240,90	なし	
8.店舗等併用共同住宅	255,0,0	なし	
9.作業所併用住宅	180,140,190	なし	
10.官公庁施設	10,120,190	なし	
11.文教厚生施設	250,160,50	なし	
12.運輸倉庫施設	40,60,140	なし	
13.工場	0,100,60	なし	
14.農林漁業用施設	60,170,130	なし	
15.供給処理施設	80,80,80	なし	
16.防衛施設	40,50,50	なし	
17.その他	130,130,130	なし	
18.不明	190,190,190	なし	
19.空家	255,255,255	なし	縦縞 0,0,0

③ (建物利用現況図) (〇〇市 (基準日：〇〇年〇〇月〇〇日現在))



作成項目 c.位置図

(5) 土地利用ポリゴンの標準的な作成手法（案）

- ・土地利用ポリゴンの作成にあたっては、地番現況図や公共座標系で整備された登記所備付地図の「筆」の形状と整合させることを基本とする。
- ・具体的には、
 - ①土地利用ポリゴンの基本単位は「筆」を基本とするとともに、土地利用ポリゴンの境界は、「筆界」と整合されるものとする。
 - ②単一の筆において、複数の土地利用の実態が認められる場合は、代表的な土地利用（筆のなかで面積の割合が大きい用途）を筆の土地利用用途として採用する。
 - ③地番現況図のGISデータが整備されていない、公共座標系で整備された登記所備付地図が存在しない、筆が現況と著しく異なる場合は、従来の土地利用ポリゴン作成手法（目視等）に従うものとし、「筆」のデータが整備された場合は、筆データを活用する。

※上記の考え方で土地利用ポリゴン作成方法を規定できるか今後検討予定